

第11章 都留の祭り ――八朔祭り 大名行列参与観察調査

八朔祭大名行列体験報告

志茂龍太

私は9月1日の八朔祭で大名行列に参加しました。練習があると聞いたので、実家から1時間かけて通う私としては「面倒だなあ」という思いがありました。しかし、一度引き受けたからには、任務を完遂しようと決心しました。

8月の中旬に都留市のコミュニケーションセンターで開かれた説明会に参加しました。夜8時からの説明会で、市役所の産業観光課の方が簡単な説明をしました。説明会に参加したのは、市の消防団の人や有志の人が多かったと思います。



練習は、都留第一中学校や市民総合体育館で3日間行われました。私は最終日の総練習日だけ出席しました。練習に行くと、消防団の方々が温かく迎えてくれました。「飲み会を開きましょう」と耳にタコができるくらい言われたのを覚えています。私は「床几」（しょうぎ）という役に任命されました。床几とは、殿様が馬から降りた時に座る椅子を持ち運ぶ役で、「奴」（やつこ）という位に位置するものです。周りの方々の温かく熱心な指導で、歩き方を覚える事が出来ました。市民の祭りに対する熱い思いが伝わってきました。

子供から大人まで全員が真剣に楽しんで練習していました。

私と同じ、床几に任命された会社員の方は「祭り当日は平岡だから会社を休まないとならないけど、上司が昔祭りに出たことのある人だから、すんなり快諾してくれた。理解がない会社だと大変だろうなあ」と言っていました。八朔祭が盛大に行われる裏には多くの方の協力と、それに対する理解があることを知りました。

本番当日は、午後12時半にYLO（都留市文化会館）に集合して、3階の控え室で衣装を受け取り、着替えしました。足袋やわらじを履くのも一苦勞でした。わらじは軽くて足にフィットして歩きやすく、昔の人の知恵に感動しました。

着替えを済ませた順に化粧をします。化粧をしてくれたのは地元の業者の方だと思います。長年やっているせいか、慣れた手つきで手際よく施していきます。全員が化粧を終えたら、1階のロビーに降りて大人はビールを、子供はジュースを飲んで、気分を盛り上げます。私はジュースを飲みました。周りの大人たちはビールを早々に3缶も4缶も開けて、タコのように真っ赤になってヨロヨロしていました。

準備が整い、配列につきました。私は殿様の乗る馬のすぐ後ろに位置しました。馬は「都留乗馬倶楽部」の馬で、当日はいささか興奮気味でした。しばしばフンや小便を道に垂れ流して私たちを驚かせました。「驚く」の漢字に「馬」がついている理由を体感しました。前兆もなく、いきなり勢いよ

く流すので反応の遅い人は被害者となります。片付けるのは、馬主の老人です。市指定の透明のゴミ袋とチリトリを持っていました。行進の後半になるに連れ、その袋が重くなっていくのは言うまでもありません。そんなハプニングもありながら、祭り会場となっている谷村第一小グラウンドを目指し踊り歩きました。見物人の多さに驚きました。酒やビールをすすめる見物人もいました。

途中で1時間弱の休憩がありました。姫様役の文大生は、記念撮影を頼まれて、アイドルのような感じでした。休憩中に小学生が話し掛けてきました。人懐こい子どもは大好きなので、私はその子の相手をしていました。小学生には現金での報酬はなく、代わりに図書券が贈られるそうです。「お金のほうがいい。いつになったらお金をもらえるの」と言ったので、「大人になったらだよ」と返しました。「大人になるまで出続けよう」と笑っていました。この小学生が、本当に大人になるまで毎年、八朔祭に参加したらうれしいなあと思いました。



休憩も終わり、いよいよ谷村第一小まで残りわずかになりました。少し疲れを感じるようになりましたが、第一小に近づくに連れて、観客の熱気も増してきたように感じました。校庭に到着して、一応、行列は終了しました。

その後に、市の重鎮からねぎらいの言葉がありました。こうして大名行列を無事に終えることができました。体育館に移動して着替えをしてから報酬を受け取りました。至福の瞬間です。帰り際に、榎本先生からやきそばとかき氷をご馳走していただきました。私はその日の夕方、地元で家庭教師のバイトがあるので、一刻も早く帰路につく必要がありました。私は化粧のついたままの顔で車を走らせ、家庭教師先のお宅に向かいました。ウェットティッシュのような化粧落としを渡されて化粧をバイト中に落としました。こうして私の長い1日が無事終了したのです。

参加して、思ったより楽しかったです。いろんな方々と交流ができて、有意義な一日になりました。いっしょに大名行列に参加した「戦友」の櫻田氏、練習も含めてお疲れ様でした。貴重な夏休みの一日に激励に来てくれた「社調」調査メンバーの皆さんにも感謝します。

参与観察調査 ——大名行列体験記

櫻田 俊基

はじめに

八朔祭りの大名行列に参加した櫻田です。たぶんダラダラ書くので体験記というより日記に近くなってしまうと思います。おもしろかったこと、印象に残ったこと、大名行列をやったの感想など書いてきます。

説明会

まずは8月18日に説明会がありました、夜7時半から商工会館で。お茶もらいました。始まる前にゴクゴクと…。説明会開始！ でも結局30分くらいで終わりました。しかも配役決定せず…。志茂さん、このためにわざわざ車で1時間のお疲れ様でした(泣)。

練習初日

8月23日。記念すべき練習初日！ 気合を入れて20分前には到着しました、雨の中歩いて。雨だから都留第一中のグラウンドから体育館に変更だね。でもなかなか人が現れず。不安になり、説明会の日にもらった冊子を薄暗いなか見ました。するとそこには「雨天のときは都留市民総合体育館にて練習」と…、あせりましたね。もう目的地まで20分間ダッシュですよ。途中、道に迷いながらも。なにはともあれ市民体育館に着きました、汗だくで。でも体育館電気ついてないんですよ。もう練習時間過ぎてるのに。そしてもう一度冊子を照明の下よく見ると「練習は雨天のとき都留第一中体育館、総合練習雨天時市民総合体育館」と書かれていましたね。やられました。いや、やってしまいました。自分のアホさかげんにうんざりして、その日はサークルの練習部屋に行って憂さ晴らしにサークルの練習しましたね。そして帰宅しました。雨に打たれとても寒く練習？ 初日が終わりました。

練習2日目

8月24日。練習2日目だ～。今日は快晴。暖かい。雨さんさよなら。昼間は教習所で練習。疲れて帰宅。夜になる。さあ祭りの練習に行こう～。昨日と同じく都留第一中のグラウンドへ。おっ、今日はみんな集まりが早いぜ。さっそくあいさつに行く。とりあえず役が決まっていなかったので「赦馬（しゃうま）という、長い棒の先にふさふさした毛をつけたやつを振り回すのを練習することになった。なぜか練習の開始が消防署の敬礼で始まり、さっそく棒を持ってみる…、「おもっ!!」。持ってみた棒は意外と重く、バランスを崩すとふらついてしまう。と、まあ大人の前では重くないフリ、重くないフリ。次に踊りを教わった。赦馬を振る手の動きと足のステップが独特のあの動き。そして「あよいつ あよいつ あよいつ あよいつ あよいつ あよいつ あよいやまっかよい!!」という息の合う掛け声。最初は恥ずかしかったですね(恥)。そしてとうとうあの練習に入りました。そう、赦馬を投げる練習です。いざ投げると怖くてね。まだ赦馬の感触にも慣れていないのに。まあぶつくさ言わず投げましょう。あっそれ「よいやまっかよ～い」…、受け手まで届かず。ちっ、角度を気にしすぎたか。もう一度…、そして何度か投げるうちにコツをつかむ。「赦馬ばかり気にしないで相手の目を見てなげりゃあ角度も距離も合うな」。休憩中に同じ役の人と話をした。みんな消防団に勤めているらしい。祭り当日はみんな始まる前から酒を飲むらしい。この人たちあなどれん…。ひと通りの流れもわかった後、通して練習をしてみる。グラウンド一周スタコラサッサ～。やばい結構しん

どい。何はともあれ練習2日目終了。終わりのしめも消防署の敬礼で終わった。

練習3日目

8月25日。さてさて教習所も終わり、祭りの練習に行きましょう。今日もみんな来てるな〜。そして全員集まり、道具も出し切り、敬礼をして練習開始！ この日は全体でどんどん流しましたね。私も赦馬に慣れたのか、昨日よりは動きにキレがありました。それでも細かいところを指摘されつつ修正をし、「いざ総練習へ！」という感じですね。なぜかこの日は時間に余裕があり、消防団の人とたくさん話をしました。やはりみんなかなりのつわものです…。敬礼をして練習終了！

総練習

8月29日。今日は雨が降っていたので、市民体育館で午後1時半から総練習。眠たい目をこすりながら体育館へ。途中で志茂氏と会う。人がすでに集まっていた。そして娘を抱いた笑顔の榎本さんの姿も。私はともに練習をした消防団の人たちの中へ。全体のあいさつが終わり、練習開始。配役ごとに配置につく。列の長さは体育館およそ半周かな。私の赦馬は先頭より、最後尾は姫様といった具合である。余興の歌も終わり行進が始まる。「あ よいやまっか よい」。総練習とはいったものの、消防団の人には緊張のかけらもない。みんな楽しんでいる。さすがだ…。他の役の人の表情からはわからなかったが、全体の雰囲気もみんな和んでいる感じだ。なかには小学生の姿も。途中で休憩を挟んだ。ジュースが配られ、飲みながらひと休み。子供たちが衣装の銃を持って遊んでいる。必死の打ち合いだ(笑)。休憩終了。結局、体育館を2週したかな。赦馬に慣れたとはいえ結構疲れた。練習終了後、消防団の人たちと「夢庵」(ファミリーレストラン)で食事をするようになったが、教習所があるので今回は欠席…はあ。その後、姫の腰元役の文大生とも榎本さんを通じあいさつをして解散。雨はあがっていた。疲れた疲れた総練習。

当日

とうとうきましたお祭り当日。今日はお昼の12時半に文化会館に集合。はやる気持ちを抑えながら時間前には着きました。消防団の人と合流し、さっそく衣装に着替え始めました。とはいいつつも、衣装の着方がまったくわからなかったの、一から教わりました。衣装を着終わると次はメイクに取り掛かりました。専属のメイクさんに顔をパタパタと…、眠くなりました。うとうとしている間にメイクが終わったみたいです。最後にカツラをもらいに行きました。どうやら一番小さいサイズようです。頭が重い。ひげもつけて準備完了！ みんな1階のロビーに集まりだしたので着いていく。そしてそこで見た光景はビールを開け酔っ払う酒豪たち。身の危険を感じました。案の定、飲まされました、出発前に。かなり飲みました。しかもすきっ腹だったので酔いも早かったです。出発は午後3時。それまでの間、練習もしました。どうやら毎年、勝手にオリジナルの振りをやっているそうです。今回は前から少し話し合っていたみたいですね。さっそくあわせてみました。



「あ ど〜でもよい (あ ど〜でもよい) あ 酒もってこい (あ 酒もってこい) いくぞ〜 3 2 1
ハッスル ハッスル」
はまりました。本番が楽しみです。

休憩も入れて本番の時間になりました。
列を整えて前座が始まる。そして「あ よい
やまつかよい」行列開始。道は長い。どこ
かしらにテレビ局のカメラがありました。
写真も撮られましたね。途中で榎本さん率
いる大名行列応援団（調査メンバー）の人
たちの声援もうけました。ビックリです。
そして居酒屋発見。やるか、やってしまう
のか！…でた。

「あ ど〜でもよい あ 酒もってこい 3
2 1 ハッスル ハッスル も〜いっちょ
う 3 2 1 ハッスル ハッスル」

次の瞬間ほんとに酒来ました。うかつでした。この人たちを甘く見ました。みんなガブガブ飲んでま
す。勘弁してください。何はともあれハッスルは大成功。いい感じです。子供もみんな真似して踊っ
てます。お祭りって感じですな〜。



休憩場所（ミュージアム都留）に到着しました。酒もあったのでけっこう疲れました。も〜酒飲み
たくなかったので必死にポカリに逃げました。体力もたない。おなかすいたし。しかしここで我がサ
ークルの仲間に出会いました。野郎どもは浴衣で女子もみんな浴衣でした(驚)。気合はいつているな〜。
こやつらが「姫様の腰元役の友達に会いたい」というので、姫様たちが休憩しているところに連れて
行きました。なんか話し長引きそうなので私は退出！ そんなこんなで休憩終わり。

とうとう残りは谷村第一小学校までとなりました。少し名残惜しいけど最後までハッスルしていき
ましょう。でもなんか馬が不機嫌です。きっと、おおぜい人がいるからストレスたまっているんでし
ょうね。さあ出発。っていきなりやるんすかハッスル…、この人たちは。最後の行列だけあって見物
人が多かったです。そしてやっと小学校までつきました。屋台が並んでおりますな〜。早くやきそば
食べたいです。だって朝から何も食べていないんですもの。グラウンドを回っているなか、ある作戦
が進行中。それは来賓席に向かってハッスルをすること。でもこれはこれで面白そう。「ハッスル ハ
ッスル」みなさんウケてます。よかったよ、よかった。そして…、ついに…、とうとう行列がゴール
にたどり着きました。みなさんお疲れ様！ がんばった自分！

閉会式まで消防団の人と話をしながら休憩していました。なんか成り行きで来年も出ることになり
ました。閉会式も終わり、着替えも終わらせ、謝礼金ももらい、早く家に帰りたいかったです。体かな
り疲れていました。でもその前に榎本さんと会話。榎本さん、やきそばとかき氷おいしかったです。
ありがとうございました。

あとがき

今回大名行列に参加したことは、自分にとって、とてもいい経験になりました。伝統ある都留市の八朔祭りに部外者ながら参加させていただき、心から感謝しています。本当に、機会があれば来年も参加させていただきたいと思っています。この祭を通して、さらに都留のことがわかった気がします。大名行列で体験したこと、祭を通して感じたことは今でも心に残っています。大名行列の演技を教えてくださいました消防団の方々、八朔祭りの開催に関わってこられた方々、また今回、大名行列に参加する機会を与えてくださった方、皆様、どうもありがとうございました。

